

電気自動車（BEV）への関心度調査（前編）

**2022年の電気自動車（BEV）保有率は
前年比3.7%増の8.2%、買い替え検討者は34.9%に
買いたい車種ランキングも公開 気になる、第1位は？**

クルマのサブスクリプションサービスを展開する、株式会社KINTO（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：小寺 信也）は、現在クルマを保有しており、かつ環境問題に関心があると回答した方550名を対象に、昨年引き続き「電気自動車（BEV）への関心度調査2022」を実施いたしました。全2回のレポートのうち、今回は前編をお届けします。

※BEV：Battery Electric Vehicle（電気自動車）

■調査サマリー

電気自動車（BEV）への関心度調査2022（前編）

TOPIC 01

電気自動車(BEV)保有率は**8.2%**、昨年より**3.7%アップ**の結果に

TOPIC 02

実際に購入する際に検討したい電気自動車ランキング

第1位は日産「リーフ(LEAF)」 **第2位**は日産「サクラ(SAKURA)」
第3位はMAZDA「MX-30 EV MODEL」

TOPIC 03

昨年に引き続き、**72%**が電気自動車に「車両価格の値下げ」を期待

■調査概要

調査概要：電気自動車（BEV）への関心度調査2022（前編）

調査方法：IDEATECHが提供するリサーチPR「リサピー®」の企画によるインターネット調査

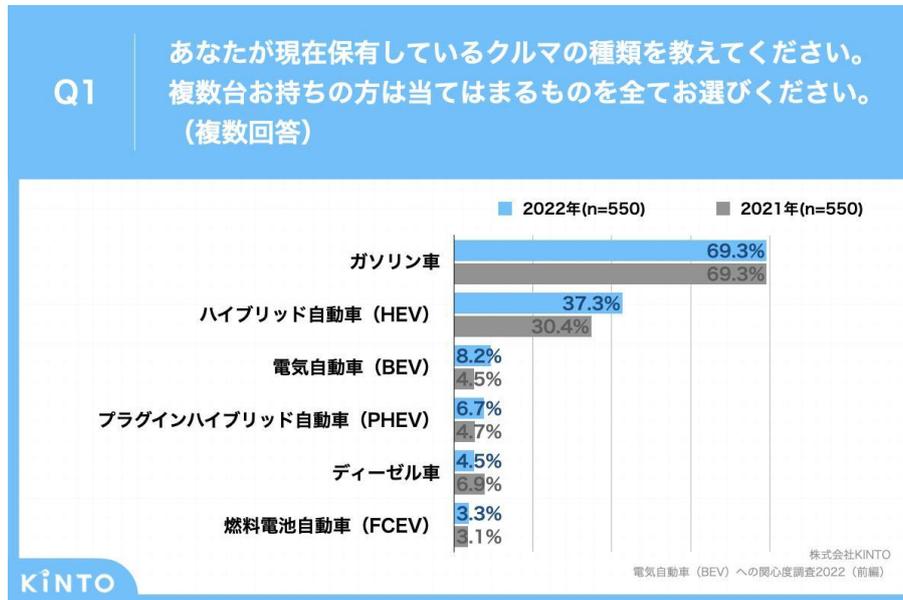
調査期間：2022年11月14日～同年11月14日

有効回答：現在クルマを保有しており、かつ環境問題に関心があると回答した方550名

※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。

Q1. 電気自動車（BEV）保有率、昨年より3.7%アップの8.2%。ハイブリッド車（HEV）保有率、昨年より6.9%アップの37.3%という結果に

現在保有しているクルマの種類を質問したところ、「ガソリン車」が69.3%、「ハイブリッド自動車（HEV）」が37.3%、「電気自動車（BEV）」が8.2%という結果に。ガソリン車の保有率が高い一方で、HEVとBEVの比率が昨年より増加となりました。

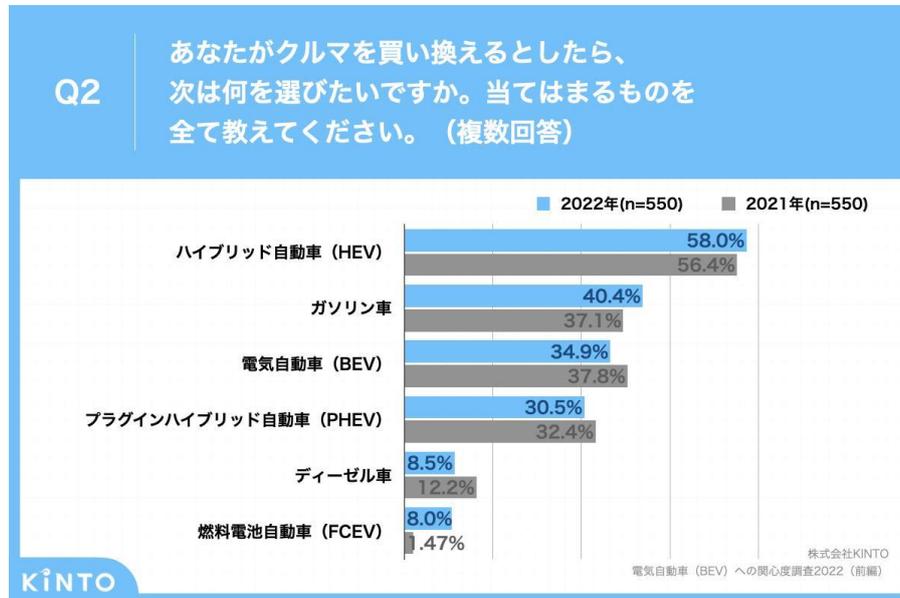


<2022年 (n=550) >

- ・ガソリン車 : 69.3%
- ・ハイブリッド自動車 (HEV) : 37.3%
- ・電気自動車 (BEV) : 8.2%
- ・プラグインハイブリッド自動車 (PHEV) : 6.7%
- ・ディーゼル車 : 4.5%
- ・燃料電池自動車 (FCEV) : 3.3%

Q2. 次に買い替えるとしたら、58.0%でハイブリッド車（HEV）、34.9%が「電気自動車（BEV）」を選択

クルマを買い換えるとしたら、次は何を選びたいかを尋ねたところ、「ハイブリッド自動車（HEV）」が58.0%、「ガソリン車」が40.4%、「電気自動車（BEV）」が34.9%という回答となりました。昨年につき、依然とHEVの人気がうかがえます。

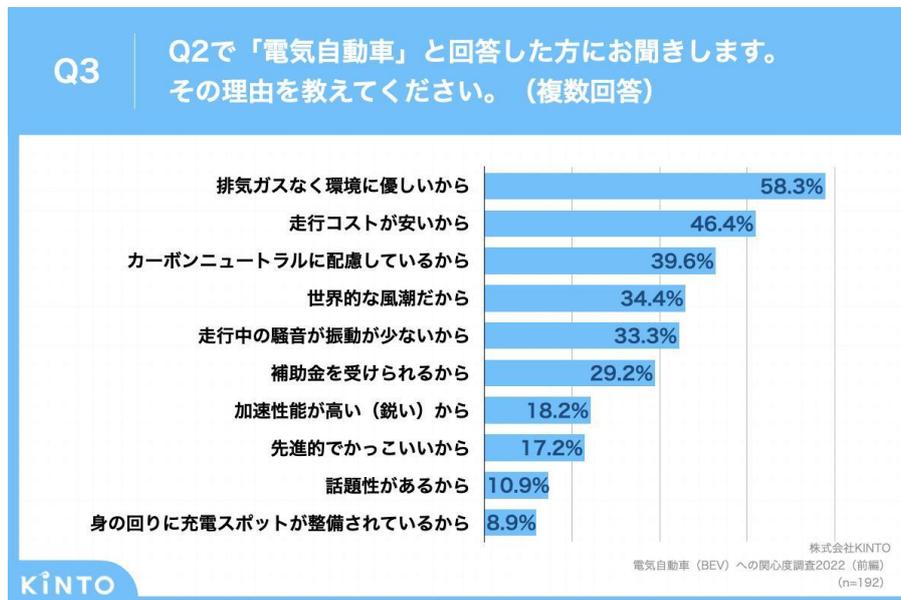


<2022年 (n=550) >

- ・ハイブリッド自動車（HEV）：58.0%
- ・ガソリン車：40.4%
- ・電気自動車（BEV）：34.9%
- ・プラグインハイブリッド自動車（PHEV）：30.5%
- ・ディーゼル車：8.5%
- ・燃料電池自動車（FCEV）：8.0%

Q3. 買い替える際に「電気自動車（BEV）」を選ぶ理由、昨年と変わらず「排気ガスがなく環境に優しいから」が約6割で最多

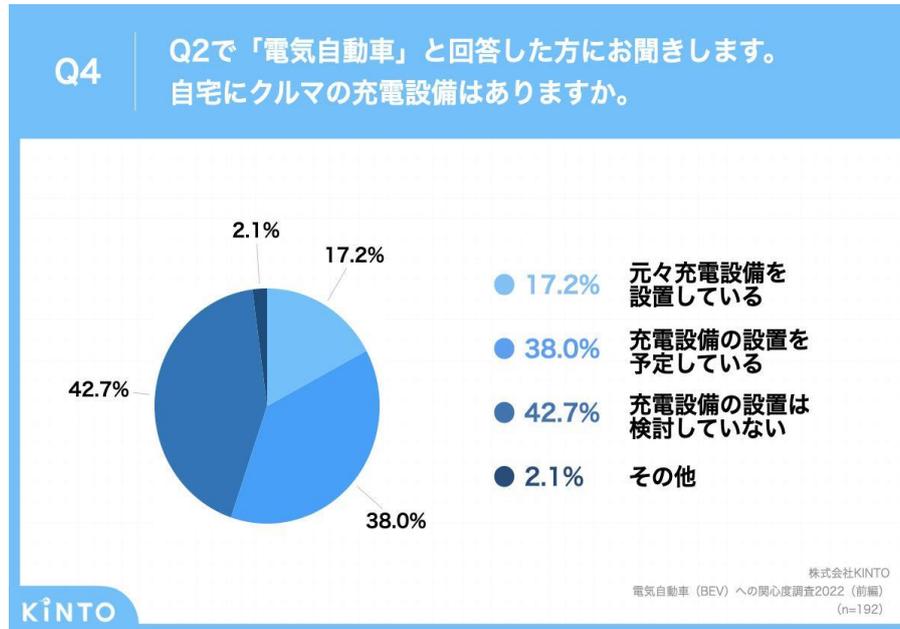
Q2で「電気自動車」と回答した方に、その理由を質問したところ、「排気ガスがなく環境に優しいから」が58.3%、「走行コストが安いから」が46.4%、「カーボンニュートラルに配慮しているから」が39.6%という回答となりました。



- ・ 排気ガスがなく環境に優しいから：58.3%
- ・ 走行コストが安いから：46.4%
- ・ カーボンニュートラルに配慮しているから：39.6%
- ・ 世界的な風潮だから：34.4%
- ・ 走行中の騒音が振動が少ないから：33.3%
- ・ 補助金を受けられるから：29.2%
- ・ 加速性能が高い（鋭い）から：18.2%
- ・ 先進的でカッコいいから：17.2%
- ・ 話題性があるから：10.9%
- ・ 身の回りに充電スポットが整備されているから：8.9%
- ・ その他：2.1%
 - －49歳：節約できる

Q4. 約4割が自宅にクルマの充電設備の設置を予定、17.2%は元々充電設備あり

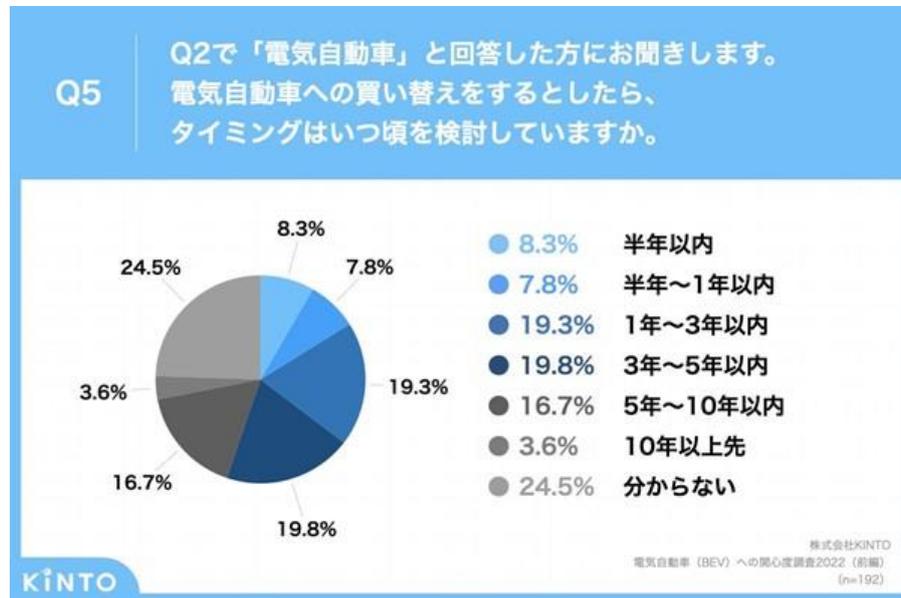
Q2で「電気自動車」と回答した方に、自宅にクルマの充電設備があるかと質問したところ、「元々充電設備を設置している」が17.2%、「充電設備の設置を予定している」が38.0%という一方で、「充電設備の設置は検討していない」が42.7%となりました。



- ・元々充電設備を設置している：17.2%
- ・充電設備の設置を予定している：38.0%
- ・充電設備の設置は検討していない：42.7%
- ・その他：2.1%
 - 58歳：車の購入が決まってから考える
 - 49歳：マンションだからあきらめている

Q5. 電気自動車への買い替え時期、約6割が「5年以内」と想定

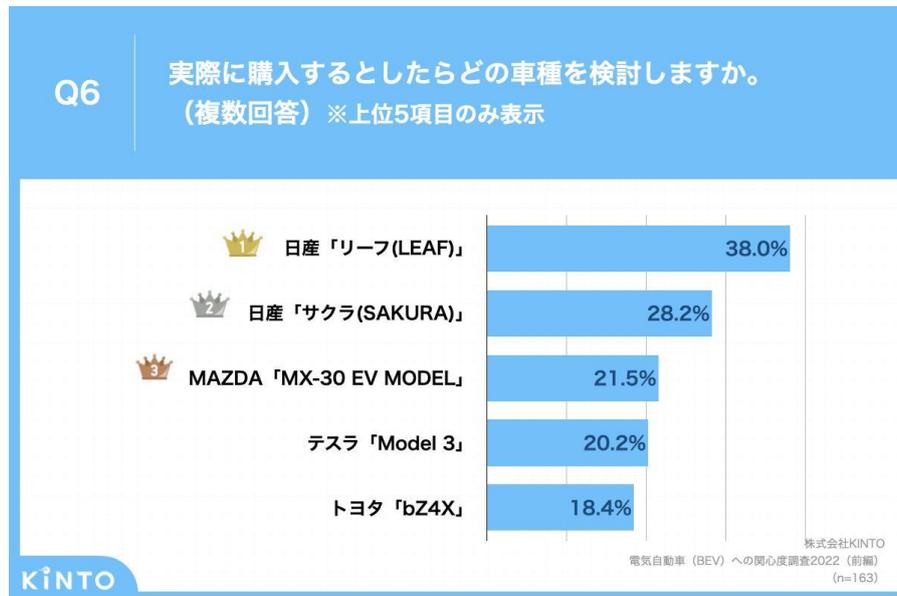
Q2で「電気自動車」と回答した方に、電気自動車への買い替えをしたら、タイミングはいつ頃を検討しているか尋ねたところ、「1年以内」が16.1%、「1年～3年以内」が19.3%、「3年～5年以内」が19.3%という回答となりました。しかしながら、4人に1人が分からないと答えるなど、まだまだ様子見で中長期的にBEV購入を検討する人が多くいることが見受けられました。



- ・半年以内：8.3%
- ・半年～1年以内：7.8%
- ・1年～3年以内：19.3%
- ・3年～5年以内：19.8%
- ・5年～10年以内：16.7%
- ・10年以上先：3.6%
- ・分からない：24.5%

Q6. BEV購入検討車種は「日産「リーフ(LEAF)」」が38.0%で最多

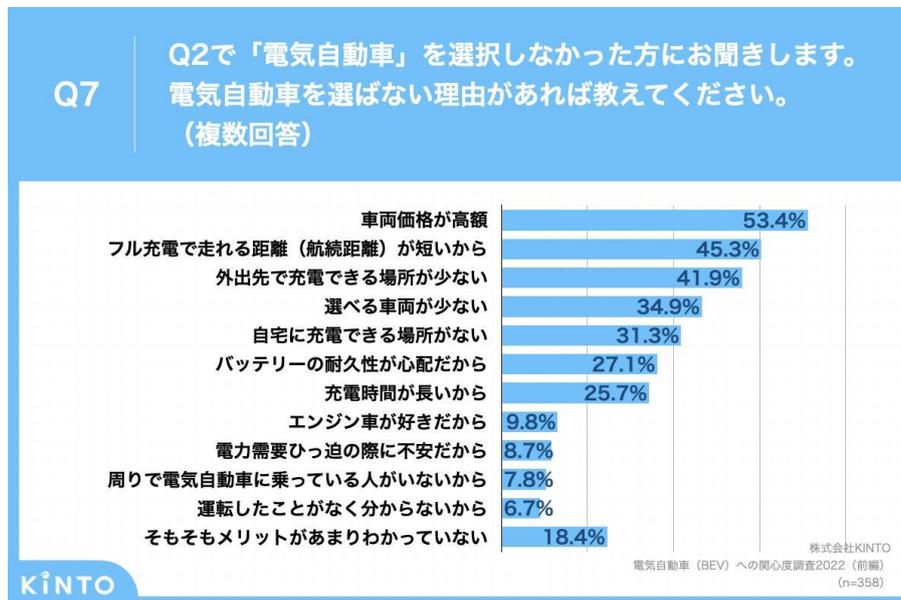
実際に電気自動車を購入するとしたら、どの車種を検討するかと質問したところ、「日産「リーフ(LEAF)」」が38.0%、「日産「サクラ(SAKURA)」」が28.2%、「MAZDA「MX-30 EV MODEL」」が21.5%という回答となりました。



- ・日産「リーフ(LEAF)」 : 38.0%
- ・日産「サクラ(SAKURA)」 : 28.2%
- ・MAZDA「MX-30 EV MODEL」 : 21.5%
- ・テスラ「Model 3」 : 20.2%
- ・トヨタ「bZ4X」 : 18.4%
- ・Honda「e」 : 17.2%
- ・日産「アリア(ARIYA)」 : 14.7%
- ・プジョー「e-208」 : 14.1%
- ・三菱「eKクロス EV」 : 11.0%
- ・プジョー「e-2008」 : 8.6%
- ・スバル「ソルテラ(SOLTERRA)」 : 8.0%
- ・フォルクスワーゲン「ID.4」 : 6.7%
- ・ヒョンデ「IONIQ 5」 : 3.1%
- ・あてはまるものはない : 4.9%

Q7. クルマ買い替えて電気自動車を選ばない理由、半数以上が「車両価格が高額」と回答

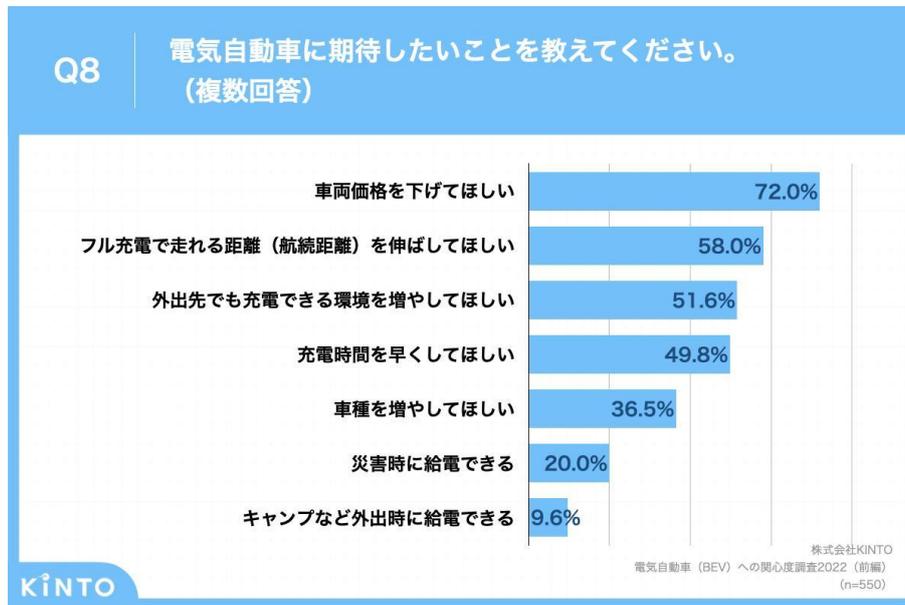
Q2で「電気自動車」を選択しなかった方に、電気自動車を選ばない理由を尋ねたところ、「車両価格が高額」が53.4%、「フル充電で走れる距離（航続距離）が短いから」が45.3%、「外出先で充電できる場所が少ない」が41.9%という回答が上位となりました。



- ・ 車両価格が高額：53.4%
- ・ フル充電で走れる距離（航続距離）が短いから：45.3%
- ・ 外出先で充電できる場所が少ない：41.9%
- ・ 選べる車両が少ない：34.9%
- ・ 自宅に充電できる場所がない：31.3%
- ・ バッテリーの耐久性が心配だから：27.1%
- ・ 充電時間が長いから：25.7%
- ・ エンジン車が好きだから：9.8%
- ・ 電力需要ひっ迫の際に不安だから：8.7%
- ・ 周りで電気自動車に乗っている人がいないから：7.8%
- ・ 運転したことがなく分からないから：6.7%
- ・ その他：4.2%
 - －47歳：冬期の立ち往生が危険だから
 - －55歳：下取が安いから
 - －62歳：雪道が不安
 - －51歳：スタイルがイマイチ
 - －60歳：電気自動車がCO2削減に寄与するとは思えないから
- ・ なんとなく：2.5%
- ・ そもそもメリットがあまりわかっていない：18.4%

Q8. 昨年に引き続き、72%が電気自動車に「車両価格の値下げ」を期待

最後に、電気自動車に期待したいことを質問したところ、「車両価格を下げてほしい」が72.0%、「フル充電で走れる距離（航続距離）を伸ばしてほしい」が58.0%、「外出先でも充電できる環境を増やしてほしい」が51.6%という回答が上位となりました。



- ・ 車両価格を下げてほしい：72.0%
- ・ フル充電で走れる距離（航続距離）を伸ばしてほしい：58.0%
- ・ 外出先でも充電できる環境を増やしてほしい：51.6%
- ・ 充電時間を早くしてほしい：49.8%
- ・ 車種を増やしてほしい：36.5%
- ・ 災害時に給電できる：20.0%
- ・ キャンプなど外出時に給電できる：9.6%
- ・ その他：2.5%
 - 62歳：寒冷地でのバッテリー効率アップ
 - 55歳：下取を高くしてほしい
 - 57歳：月極駐車場で充電できれば
 - 63歳：充電設備の普及
 - 51歳：スタイルを格好良く

■まとめ

今回は、現在クルマを保有しており、かつ環境問題に関心があると回答した方550名を対象に、電気自動車（BEV）への関心度調査2022（前編）を実施しました。

電気自動車（BEV）保有率は8.2%という結果となり、昨年と比較すると3.7%アップしていることが分かりました。また、クルマを買い替える際には「ハイブリッド自動車（HEV）」を選ぶと答えた方が約6割で最多となり、依然としてHEVの人気うかがえる結果に。そして3割以上が「電気自動車」を選ぶと回答しており、選ぶ理由は昨年と変わらず「排気ガスがなく環境に優しいから」が最多の結果となりました。

そんな“次の買い替えは電気自動車を選ぶ”と答えた方でも、「自宅の充電設備の設置は検討していない」が約4割、買い替えタイミングは「3年以降、もしくはわからない」が6割にのぼる結果から、現在保有しているクルマにしばらく乗り続け、中長期的に電気自動車を検討している様子が見てとれました。

一方で、クルマ買い替えで電気自動車を選ばない最も多い理由が「車両価格が高額」とあり、電気自動車に対して昨年に引き続き「車両価格の値下げ」を期待する声が多数挙がりました。

昨今関心が高まり、脱炭素の文脈で語られている電気自動車ですが、物価高やエネルギー代高騰の背景もあり、昨年以上に注目が集まります。後編のレポートではその実態を明らかにします。

※トヨタでは電気自動車をBEV（Battery Electric Vehicle）、ハイブリッド自動車をHEV（Hybrid Electric Vehicle）、プラグインハイブリッド自動車をPHEV（Plug-in Hybrid Electrical Vehicle）、燃料電池自動車をFCEV（Fuel Cell Electric Vehicle）と表現するため、本調査でも統一しています。

■KINTOで「bZ4X」のお申込みを受付中！



詳しくはこちら：<https://toyota.jp/bz4x/>

■会社概要

会社名：株式会社KINTO（KINTO Corporation）

設立：2019年1月

代表取締役社長：小寺信也

URL：<https://corp.kinto-jp.com/>

※文中に記載されている会社名、商品名は各社の商標または、登録商標です。

【本件に関するお問い合わせ先】 株式会社KINTO 広報：岡部

<https://kinto-jp.com/customer/contact/corporation>